

高齢者福祉論

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----------------|---------|------|
| | CL2064 | 担当教員 | 単位数 | 履修方法 | 配当学年 |
| | | | 2単位 | R or SR | 1年以上 |
| 科目コード | CL2064 | 担当教員 | 中里 仁(上)/石附 敬(下) | | |



※この科目は、2009年度以降入学者に対して開設されている科目です。2008年度以前に入学した方の「高齢者福祉論（4単位）」は『レポート課題集2014（社会福祉編）』または通信教育部 HP をご覧ください。

※会場によりスクーリングを別教員（小森弘道先生）が担当いたします。

■科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者問題の背景（高齢者人口の動向・家庭環境の変化）を中心としながら、高齢者福祉の成立要因を多角的に考えてみる。
- (2) 高齢者福祉施策の変遷を学習する。
- (3) 老人保健福祉計画・介護保険事業計画の概要を学習する。
- (4) 在宅高齢者福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。
- (5) 高齢者施設福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。

■到達目標

わが国の高齢者福祉の現状と課題を理解し説明することができる。

■教科書（「介護概論」「介護技術」と共通）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第5版）』中央法規出版、2016年（第5版でなくても可） 第1～4・8～10・終章

（最近の教科書変更時期）2016年4月

■在宅学習15のポイント

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|-------------|--|--|
| 1 | 高齢者の特性 ① | 高齢期における生活の変化、家族と社会関係の変化を理解するとともに、加齢に伴う身体機能、運動能力の変化を理解する。 | 高齢者の福祉を学ぶ際、その特性を理解することが重要です。加齢に伴う身体的変化を充分理解されたうえで、特に「家族」と「社会関係」の変化について、テキストに書かれた内容を身近な高齢者に当てはめながらイメージ化し学びを深めてください。 |

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|----------------|--|---|
| 2 | 高齢者の特性② | 高齢者の精神的な変化を理解するとともに、ライフサイクルとライフコース、更に終末期ケアを含め高齢者を総合的に理解する。 | 社会的環境の変化や加齢に伴い、精神的な老化や心の病気等の高齢者の抱える精神的な課題を理解するとともに、誰しもが避けては通れない「死」について学びを深めてください。 |
| 3 | 少子高齢社会と高齢者 | 少子高齢社会の現状と要因を理解するとともに、高齢者を取り巻く諸問題を理解する。 | 少子高齢社会が国家にもたらす「その意味合い」を理解するとともに、介護問題のみならず高齢者を取り巻く諸問題について学びを深めてください。 |
| 4 | 高齢者保健福祉の発展 | 高齢者福祉の起源と生成、第二次大戦以降の我が国における高齢者保健福祉制度の発展過程を理解する。 | 「現在」の高齢者保健福祉制度を理解するためには、その発展過程を理解することが重要となります。それら制度の変遷を踏まえ、「将来」の制度のあるべき姿について学びを深めてください。 |
| 5 | 高齢者支援の関係法規① | 高齢者の支援にあたり、その法的根拠となる関連法規を学ぶことは必要不可欠であります。ここでは高齢社会対策基本法の概要と高齢社会対策大綱の概要を正しく理解する。 | これまでに類をみないスピードで高齢化が進んだ我が国において、その対策への基本的理念である高齢社会対策基本法を理解するとともに、社会経済の変化を踏まえ見直された高齢者対策大綱について比較関連づけながら、学びを深めてください。 |
| 6 | 高齢者支援の関係法規② | 高齢者支援法規の基本ともいえる老人福祉法を理解するとともに、高齢者の医療の確保に関する法規内容を理解する。 | 老人福祉法の内容とその目的を理解するとともに、高齢者の生活に深く関連する「医療」の確保に関する法規を理解することにより、その連携の重要性について学びを深めてください。 |
| 7 | 高齢者支援の関連法規③ | 高齢者虐待防止法、バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度等の内容を理解する。 | これらの関連法案は、家族構造や社会構造の変化に対応すべく作られた法律です。特に高齢者虐待についての正しい理解、そして成年後見制度について学びを深めてください。 |
| 8 | 高齢者を支援する組織と役割① | 行政機関の役割、指定サービス事業者、国民健康保険団体連合の役割を正しく理解する。 | 国・都道府県・市町村それぞれの役割、そして様々なサービスを提供する指定サービス事業者の役割を理解することが、現在の高齢者支援の基本となります。国民健康保険団体連合の役割を含め、学びを深めてください。 |
| 9 | 高齢者を支援する組織と役割② | 地域包括センターの組織と役割、その目的、市町村の責務、活動の実態を学ぶとともに、「地域包括ケア」における役割を理解する。 | 2015年4月の介護保険改定の内容においても重要な役割を果たす地域包括支援センターを理解し、併せて活動の実態を踏まえ、「地域包括ケア」の具現化における、その現状と課題について学びを深めてください。 |
| 10 | 高齢者を支援する組織と役割③ | 地域福祉推進の要でもある社会福祉協議会の役割、ボランティア団体、NPO等を含めた非営利民間活動の現状を理解する。 | 社会福祉協議会という名称については、多くの皆さんが承知されておられますが、その設立の目的や歴史の変遷、そして現状と課題について、あまり理解されていない実情もあります。地域福祉の理解を深めるためにも学びを深めてください。 |

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|--------------------|--|---|
| 11 | 高齢者支援の方法と実際① | 高齢者理解の方法、個人・家族相談援助、グループ相談援助、ケアマネジメント等、相談援助に必要な方法と実際について理解する。 | 高齢者支援において最も重要なことは、「その人（高齢者）を理解する」ことです。支援にあたっては、支援者の個人的な経験値を尺度とした理解や支援ではなく、さまざまな相談援助の「技術」や知識が必要となります。その実際について学びを深めてください。 |
| 12 | 高齢者支援の方法と実際② | 介護保険法に基づき、またケアマネジメントの技術を駆使し、要介護状態であっても自宅で暮らし続ける（たい）高齢者の支援や虐待を受けている高齢者の支援について、具体的事例をとおし、専門職間の連携の在り方を含め理解する。 | 制度内容を理解したうえで、実際の支援がどのように行われるのか、そのために必要な専門職とは、その役割とは等、ケアマネジメントの流れに沿って紹介されています。実際の事例から学びを深めてください。 |
| 13 | 高齢者を支援する専門職の役割と実際① | 専門職の役割と実際、専門職による協働（多職種連携）について、チームとはチームアプローチの展開と実際について理解する。 | 複合的ニーズのある高齢者に対し、さまざまな分野の専門職の支援が必要となります。ここでは専門職役割と実際、特にチームアプローチの重要性について学びを深めてください。 |
| 14 | 高齢者を支援する専門職の役割と実際② | 専門職に必要な倫理とは、社会福祉士や介護支援専門員に必要な倫理とは何か理解する。 | 専門職にとって、知識や技術が重要であることは承知のとおりです。その根幹を成す「倫理」について、社会福祉士の倫理要綱、介護支援専門員の倫理内容から学びを深めてください。 |
| 15 | 近未来の高齢者福祉の課題 | 近未来の高齢者が直面する課題、その解決に求められる支援システム、高齢者を対象とした就労や学習支援システム、予防システムについて理解する。 | 高齢者人口の増加、要介護後期高齢者の増加、認知症高齢者の増加、若年労働力の減少、エネルギーや環境問題を含め、近未来に予想される諸課題について、俯瞰的な視点から学びを深めてください。 |

■レポート課題

| | |
|-------|---|
| 1 単位め | 「高齢社会とは何か」「高齢者とは何か」、そして病や死の時期の「尊厳のあり様」について自らの体験等に基づき、見解を述べよ。 |
| 2 単位め | 戦後の高齢者福祉施策の体系について時系列で整理し、その課題について論述しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可 |

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“老い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1 単位につき1,800字以上**でまとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

1 単位め
アドバイス

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業(?)するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2 単位め
アドバイス

戦後の高齢者福祉施策の体系について、時系列で整理してください。また各自の常識的視点から結構ですから、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

■科目修了試験 評価基準

テキストの内容を自身で要約することにより、下記の項目について理解を深めてください。

- 1) 「地域包括支援センターの役割と4つの業務内容」について記述ください。(第8章、p.224～225)
※地域包括支援センターの役割と業務について理解しているか。
- 2) 「社会福祉協議会が力を入れる介護予防・福祉増進サービス活動内容」について記述ください。(第8章、p.235～236)
※高齢者福祉事業への社会福祉協議会の取組みを理解しているか。
- 3) 「ボランティアの原義」について記述ください。(第8章、p.237～238)
※ボランティア団体・非営利民間活動について理解しているか。
- 4) 「高齢者支援における4つの留意点」について記述ください。(第9章、p.258～259)
※高齢者支援における留意点を理解しているか。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「基礎的知識」「レポート作成力」「自己管理能力」を身につけてほしい。

■参考図書

二瓶貴子著『施設に暮らしを』筒井書房、2009年

■履修上の注意

2015年度以降入学者は、この科目を高等学校教諭一種免許状（福祉）取得に必要な「教科に関する科目」として使用することはできません。